

ベトナム子供基金通信

NO. 11

1999/06/19

ベトナム子供基金

〒113-8642

東京都文京区本駒込2-12-3

アジア文化会館内

TEL:03-3946-4121 (代)

FAX:03-3946-7599

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

C/O TRUNG NHAT NGU DONG DU

43D/46 HO VAN HUE PHU NHUAN

HO CHI MINH VIETNAM

TEL:84-8-8477359 FAX:84-8-8477527

<タオダン訪問>

加藤 隆子

ホーチミン市にてストリートチルドレンの保護・支援活動を行っている民間グループ「タオダン」に初めて接した1997年の夏以来、彼らの熱意とひたむきさにうたれ、その活動やスタッフ達の姿を追っています。今年も4月末から5月初旬にかけて短い時間ではありますが再び彼らと一緒に時間を過ごしてきました。以下、その様子を報告いたします。

[スタッフ]

99年5月現在、タオダンの活動は11人のスタッフと約50人のボランティアによって支えられています。スタッフの多くは大学生のため、午前中は大学での授業を受け、昼過ぎから各自の業務にかかるというスケジュールですが、毎日の活動は夜10時迄に及びます。大学は午前7時に始まりますので家に帰ってもほとんど寝るだけです。中には毎朝4時半に起きて母親の仕事を手伝い、7時からの大学の授業、午後2時から10時までをタオダンの活動に費やしているスタッフも居ます。11人のスタッフは給料を支給されていますが、1人当たり、ひと月1万円にも満たない額です。(大学卒業者の初任給が約100ドルくらい)。

しかし、スタッフにとってタオダンの活動は何ものにもかえがたい自分のたちの生きがいであるので、彼らのほとんどは5年以上も活動を継続しています。

[ホンさんの体調]

心配していたリーダー・ホンさんの体調ですが、今のところ深刻な状態ではありませんが、常時、薬を持ち歩いている状態です。鼻から頭にかけて痛みがあるようです。大きな病院できちんと検査を受け、療養すればよいのですが、本人曰く「お金もかかるし、医者にはキライだから」とのこと。しかし何よりスタッフや子供たちのことが心配なのでしょう。スタッフも彼の体調を心配しています。

【組織】

今まではホンさんの業務負担量がかなりあったのですが、きちんと組織的に業務の分担を図っています。現在はビンさんとタンさんというタオダン創立当初からのスタッフがそれぞれ事務、現場の長としてホンさんを支え、その下に経理などの事務担当、フィールド活動担当、安全の家（16歳以下の男の子が生活するための家）担当、ショップ担当のスタッフという図式になっています。

【活動】

活動は以前同様、街の巡回や夜の勉強会、日曜日のレクリエーションをはじめ、子供たちのための仕事探し、実家の親との交渉など幅広い活動を続けています。

ただ、現在アジア全体の経済停滞のため、学歴や技術のない子供たちのための仕事を探すのは容易ではなく、スタッフも工場などに連絡をとっているものの、悪戦苦闘しています。

【資金】

現在のところ継続的に資金援助をしてくれている機関はなく、子供基金からの支援にかなり頼っています。少額の寄付などはあるようですが、どれも1回だけのものです。最近まで安全の家の家賃をイギリスの団体が援助してくれていたようですが、それも先方の資金的問題で5月で打ち切りとのこと。とりあえず数ヶ月分の蓄えはしているようですが、決して安定した状況とは言えません。

先日NHKで放送された番組を見てリコー（コピー機などを扱う会社）が100万円の寄付をしてくれたそうです。シンガポール在住の邦人のスタッフが訪問してくれたそうです。

タオダン経営の日用雑貨ショップの売上は大してなく、活動資金と言える額ではありません。（1ヶ月数十ドルほど）。スタッフも子供たちの仕事と資金確保のための方策として、何か子供たちに作らせて（カードなど）それを海外で売れるようにできないものかと、考えています。

【現在のストリートチルドレン状況】

ホーチミンのストリートチルドレンの数は増加しているようです。原因は経済低迷にあるようです。現金を稼ぐために家族ごとホーチミンへ出てくるケースもかなりあります。ただ物乞いの子供の数は一見して減っているように思えました。皆、何か商売をして稼ぐようにしているようです。

ただ今この子供たちの間で大きな問題があります。ヘロインです。薬はタイ、中国、ミャンマーなどから入ってくるようです（ゴールドトライアングル）。

この薬を売買する組織が子供を悪用しています。まず、最初のケースは子供にただで薬を与え、中毒にします。そして薬を欲しがる子供たちに薬を買うお金を稼がせます。その中でも売春が1例です。もう1つのケースは子供たちを利用してヘロインを売らせることです。薬物の怖さを知らない子供たちは仲間にも勧めたりしてしまうため、中毒者の数は著しく増加しています。更にこの問題が売春問題、エイズ問題とイモ蔓式にさ

まざまな問題を引き起こしているのです。

前述のように、経済低迷のために貧困家庭が増え、そのための家庭崩壊などの状況から保護しても家へ返すことができない子供が多くいます。また家へ返さない方がよいような家庭環境（例：親が売春をさせたり、薬物売買の仕事をしているなど）のケースも多く、まさに時代に翻弄される子供たちの姿があります。



(安全の家での勉強会)

[タオダン1998年度活動報告]

勉強会

場 所	学生数(人)	教師数(人)	備 考
クワッ ティ チャン	2～7	1～3	中断中
レ ライ	7～29	4～17	継続
トゥ ホア フオン	4～8	2	中断中
キー ホア 湖	12～27	4～10	継続
バー チェウ市場	18～24	8～15	継続
ソム ゲ	5～7	2～4	中止
コン ズア	1～2	1～2	中断中
安全の家	12～17	2～3	継続
事務所	4～8	2	中断中

ケアの状況

活 動	人 数	内 訳	人数
新しくケアした子供	132		
安全の家へ受け入れた子供	29	出ていった 他の施設へ移動 自宅へ帰った	6 6 13
自宅へ返した子供	39	家族と生活中 施設へ 再び家出	31 1 7
入学した子供	20	退学 継続中	8 12
職業教育を受けた子供 理容2名バイク修理4名 縫製3名サーカス1名自動車運転1名	11	終了 学習中 中止	1 5 5
就職した子供	13	継続中 やめた	6 7
資金貸与 1人 15,000 ドン～400,000 ドン	16	返済完了 返済未了	10 6
医者診療を受けた子供	25		

*靴磨きの道具、新聞の仕入れなど。

*交通事故、骨折発熱、など

レクリエーション（通常）

タオダン公園			動物園			安全の家		
回数	平均参加者数（人）		回数	平均参加者数（人）		回数	平均参加者（人）	
	子供	スタッフ		子供	スタッフ		子供	スタッフ
47	60	23	49	23	15	15	19	5

レクリエーション（特別）

開催日	参加者数（人）	
	子供	スタッフ
こどもの日 6月1日	60	35
中秋	304	59
クリスマス	597	150
お正月	200	27
その他	98	47
合計（のべ）	1259	318

1998年度ベトナム子供基金会計報告

(期間: 1998年1月～1998年12月)

[青葉奨学会分]

収支計算書

(単位: 円)

収 入	金 額	支 出	金 額
基金収入	6,316,872	基金送金	4,456,950
利 息	816	経 費	1,374,846
収入計	6,317,688	支出計	5,831,796
前年度繰越金	8,879,431	次年度繰越金	9,365,323
合 計	15,197,119	合 計	15,197,119

基金収入の内訳

(単位: 円)

	里親基金		一般基金		賛助金		合 計	
	参加者数	金 額	参加者数	金 額	参加者数	金 額	参加者数	金 額
1月	15	402,000	4	46,000	1	30,000	20	478,000
2月	14	282,000	5	60,000	1	3,000	20	345,000
3月	8	142,000	4	46,000	0	0	12	188,000
4月	4	62,000	2	22,000	0	0	6	84,000
5月	10	462,000	1	10,000	0	0	11	472,000
6月	12	302,000	5	146,000	3	19,000	20	467,000
7月	14	466,000	2	22,000	2	8,000	18	496,000
8月	7	172,000	3	34,000	0	0	10	206,000
9月	8	128,667	2	22,000	2	3,333	12	154,000
10月	79	1,730,667	22	289,000	5	32,333	106	2,052,000
11月	27	558,667	8	108,000	7	47,405	42	714,072
12月	21	428,667	7	94,000	13	138,133	41	660,800
合計	219	5,136,668	65	899,000	34	281,204	318	6,316,872

経費の内訳

(単位: 円)

科 目	金 額	備 考
郵送費	62,850	
印刷費	76,240	
国際通信費	55,482	
備品費	151,880	東京事務局用パソコン購入
雑 費	26,446	
スタッフ活動費	285,868	ホーチン事務局
	716,080	東京事務局
合 計	1,374,846	

[タオダン分]

1998年1年間、1,000,000円のご支援を呼びかけましたが、目標を大幅に上回るご支援をいただきました。従いまして、1999年度も1998年と同額支援することになりました。

支援金 2,962,814円
送金 1,008,600円
残高 1,954,214円

	参加者数	金額
1月	1	10,000
2月	57	601,647
3月	20	273,500
4月	5	68,000
5月	3	30,000
6月	52	822,000
7月	32	353,500
8月	8	336,000
9月	8	66,167
10月	8	177,000
11月	4	170,000
12月	7	55,000
合計	205	2,962,814

1998年度青葉奨学会会計報告

(期間: 1998年1月～1998年12月)

収支計算書

(単位: USドル)

収入	金額	支出	金額
基金収入	30,473.00	奨学金	34,002.00
利息	0.00	経費	2,845.00
収入計	30,473.00	支出計	36,847.00
前年度繰越金	9,608.57	次年度繰越金	3,234.57
合計	40,081.57	合計	40,081.57

支出内訳

(単位: USドル)

科目	金額	備考
奨学金	34,002.00	奨学生: 1月～3月 465名、4月～12月 459名
管理費	2,845.00	
その他	0.00	
合計	36,847.00	

<1999年度奨学金支給分布>

ベトナムの青葉奨学会には日本の4団体と在米、在越の個人が協力しています。1999年度は青葉奨学会全体で980名の子供たちに奨学金をしています。このうち半数近くの470名の子供たちは、ベトナム子供基金の会員の皆様のご支援により、奨学金を受け取っています。

今年度のベトナム子供基金の支援する子供たちの内訳は、小学生102名、中学生191名、高校生162名、大学生15名です。

1999年度奨学金支給分布表(青葉奨学会全体)

地 域	小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
ホーチミン市	148	275	125	38	586
カンザー	17	22	8		47
クチ(ホーチミン市)	4	4	2		10
ロンアン	5	5	15		25
ティエンザン	15	20	2		37
カントー	4	8	3		15
ベンチェ	8	14	11		33
カーマウ	14	9			23
ラムドン	4	1			5
フーイエン		3	2		5
ファンティエット	5				5
ダナン	3	16	2	1	22
クワンナム	1	15	5		21
クワンガイ	10	4			14
フエ		1	10	4	15
ゲーアン			1		1
ハノイ	29	12	15	3	59
ナムディン		26	31		57
合 計	267	435	232	46	980

ベトナム子供基金		小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
南 部	ホーチミン市	60	117	81	10	268
	ロンアン	5	5	15		25
	ティエンザン	3	8	1		12
	ベンチェ	8	14	10		32
	カーマウ	14	9			23
中 部	ファンティエット	5				5
	ダナン				1	1
	フエ			8	1	9
	ゲーアン			1		1
北 部	ハノイ	7	12	15	3	37
	ナムディン		26	31		57
合 計		102	191	162	15	470

青葉奨学会沖縄委員会

地 域		小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
南 部	ホーチミン市	12	7	3	8	30
	カンザー	17	22	1		25
	ティエンザン	12	12	1		25
中 部	フイエーン		3	2		5
	フエ				1	1
合 計		41	44	13	9	107

北陸ベトナム友好協会

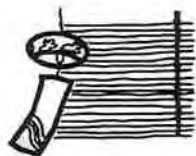
地 域		小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
南 部	ホーチミン市	37	119	34	18	208
	クチ	4	4	2		10
	ラムドン	4	1			5
中 部	クワンガイ	10	4			14
	クワンナム	1	15	5		21
	ダナン	3	16	2		21
部	フエ				2	2
合 計		59	159	43	20	281

個人会員

地 域		小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
南 部	ホーチミン市	36	32	7	2	77
	カンザー			1		1
	ベンチエ			1		1
	カントー	4	8	3		15
中部	フエ		1	2		3
北部	ハノイ	22				22
合 計		62	41	14	2	119

A O T S

地 域		小学生	中学生	高校生	大学生	合 計
南部	ホーチミン市	3				3
合 計		3	0	0	0	3



<青葉からの便り>

私はファミ・ゴック・ブウです。恩人様とご家族の皆様がいつもご健康でおられることをお祈り申し上げます。

恩人様、私が食べて学んでいくのを助けるために3年以上の間続けて奨学金を給付してくださり有り難うございました。

「飢えた時のひと握りは満腹時のひと包みに匹敵する」いただいたお金は私が多くの災難をきりぬけるのを助けてくれました。

さらにこの期間恩人様は私の様子を尋ね私を慰めてくださるためにあたたかいお手紙を送って下さいました。この御恩や徳、私はいつまでも忘れることなく心にとどめています。

恩人様、昨年度の学習期間、私は幸運に恵まれませんでした。私がラムソン中学校の8年生のクラスで勉強をしていた1997年の10月、私の家族は災難に会ってしまいました。私の祖母は病気ですが、加えて転んで左足の骨を追ってしまいました。何ヶ月もギプスをはめたままで動くことはとても大変でした。

今でも以前のような重労働はできません。お金は本当に不足していて、私は学費を払うこともできず、食費もなく親類の助けを受けることもできませんでした。それでト・ビン・ジェン学校に入学させてもらうことにしましたが、この学校は夜間クラスでしか教えておらず、私の能力に合いません。私は大好きだった友人たちや昔の学校をなつかしく思い出してとても悲しかったです。そして1人の貧しい学生が優秀な成績をおさめるのが本当に大変であると考えました。私は学校に通うことをやめて、生活費をかせぐため雇われ労働者として働きたいと思いました。でも恩人様のことを思いお越しました。このことを知ったら喜ばれないであろうと。さらに私自身も勉強をやめて無知になって、友人達にばかにされることがこわかったのです。それで私はまた別の所で勉強できるチャンスを待つためト・ビン・ジェン学校で勉強を続けました。

1998年の3月に、私は「天然都市職業訓練教育センター」で勉強できることになりました。ここは寄宿制の学校で、一般科目を教えながら職業技術を教えています。私は料金免除で寄宿できることになりました。

午前中は8年生のクラスで文字を習っています。私は勉強熱心で先生達にかわいがられています。午後は電機系統の技術を勉強しています。私は家電クラスの卒業試験に合格しました。

現在、扇風機作りの技術工科の試験に備えて勉強しています。私の勉強はとても進歩しました。私がここで勉強したのは1998年3月から1998年11月まで、もう8ヶ月をこえました。

今勉強しているこの学校はとても広く、涼しく、規律はとても厳しいです。でもこの先生はとても素晴らしいです。先生達はまるで自分の子供のように生徒を愛しています。それゆえに私は試験に合格して仕事ができる能力を身につけるその日までここで勉強を続けて卒業しようと決心しました。

8年生の間に私は3回学校をかわりました。学習内容が足りなかったので9年生に進学することができず、もう1年、8年生のクラスで勉強しなければなりません。それでもなお私は成長していくために勉強することがとても好きです。

今年私は9年生に進級する事ができませんでした。私も悲しく、とても恥ずかしく思います。だからあえて奨学金のお願いの書類を作ることはしません。もう恩人様の奨学金を受け取ることはできませんが私は今までいつも恩人様をととても尊敬し、愛しく思い起こしています。恩人様が助けてくださった御恩は何時になろうともお返し尽くせません。なぜなら私はお金をお借りしただけではなく恩義もお借りしたからです。

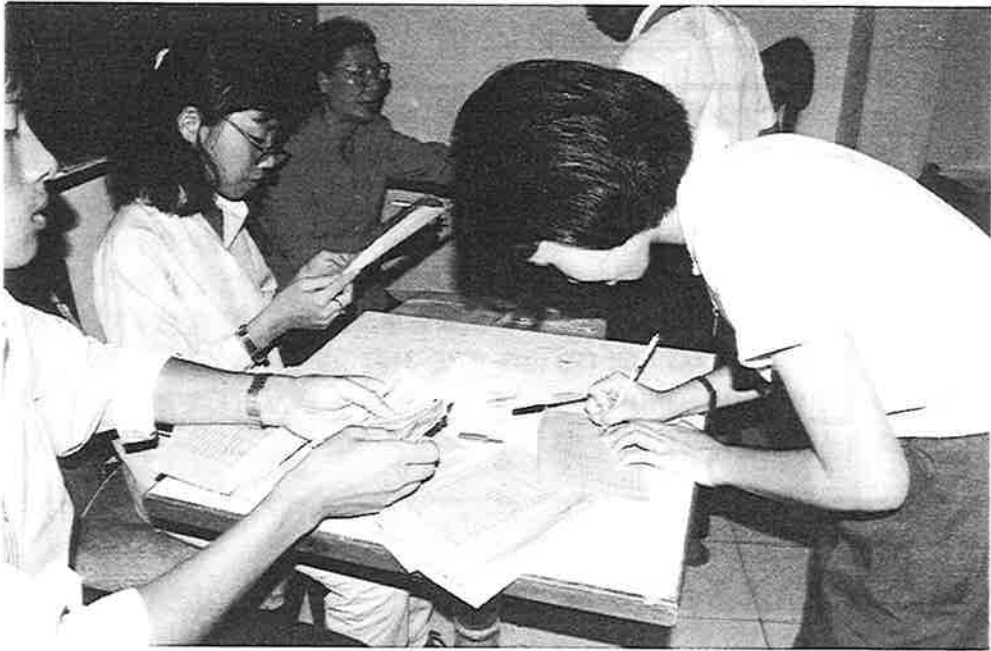
遠くにいらっしゃるにもかかわらず、私は恩人様に愛され、助けていただきました。きっと恩人様はこのお仕事をたくさんの子供に対して行っているのでしょう。だからいつも全ての人から愛され、尊敬されていらっしゃるのですね。

私は恩人様と知り合えたことをとても歓迎し、とてもうれしく思います。学んだり、わからないことを尋ねたり、成長するために私は恩人様のような素晴らしい方のそばにいたことができると願っています。

将来、いろいろな重要な仕事を自ら進んで担当できる十分な能力と道徳感を身につけるため、私はしんぼう強く頑張って勉強し、よろこんでいろいろな世の中の役に立つ慈善活動を行います。

私も恩人様のように素晴らしく高貴な仕事がしたいです。最後に恩人様に敬愛の意を表し、ご家族の皆様が幸運とよろこびに恵まれますようお祈り申し上げます。

ファム・ゴック・ブウ



(ドンズー日本語学校でホーチミン市在住の学生に奨学金支給)

<事務局より>

1. 会費の振替用紙を同封いたします。会費のご入金をよろしくお願いいたします。1999年度分を既にご入金くださった方にもお送りしている場合には、何卒ご容赦ください。

2. お願い

*直接子供へ手紙を出すのはご遠慮ください。

ベトナムでは、まだ交通事情、郵便事情がよくありません。特に地方では各家に届けられるまでに、相当の日数がかかってしまうことがあります。また、子供たちは日本語のお手紙を読むことはできません。青葉奨学会事務局の近くに住んでいる子供は、事務局に持っていき、翻訳を依頼できます。しかし、遠いところに住んでいる子供たちは事務局に郵送したり、又近くの郵便局などで高額な費用を支払って翻訳してもらわなければなりません。いずれの場合も時間と費用がかかってしまいます。

*プレゼントをくださる場合。

ベトナム子供基金事務局では、個別の子供へのプレゼントにかかる郵送料を負担することができません。恐れ入りますが、皆様から直接ベトナムの青葉奨学会にお送りください。その場合も、ベトナムで受け取る時に、税金を払わなければならない場合がありますので、あらかじめどのような物がどのくらい送られてくるのかを青葉奨学会に連絡しておかなければなりません。必ず発送なさる前に東京のベトナム子供基金事務局にお知らせください。

ボランティア募集!!!

事務処理、特にコンピュータ処理をお手伝い
くださる方を募集しています。

月水金曜日の午後2時～6時にお電話ください。

曜日、時間などご相談させていただきます。

ベトナム子供基金事務局 岡村、近藤

TEL : 03-3946-4121 アジア文化会館受付で

呼び出してください。

ベトナム子供基金会員募集

里親基金 年額一口 20,000円	特定の「里子」に奨学金を 支給する「里親」になってい ただきます。 ベトナム青葉奨学会から子供 と履歴票が届き、子供と手紙 のやり取りが出来ます。	会費納入は次のと ころにお願いしま す。 口座名義は いずれも 「ベトナム 子供基金」
一般基金 年額一口 12,000円	子供達全体の「里親」とい う関係を想定しています。 子供基金通信によって、会 の運営、子供の様子等をお伝え します。	郵便振替 0 0140-1-70399 銀行振込 富士銀行 駒込支店 普通預金 1 4 9 5 7 4 5
賛助基金	一般基金に準じます 金額、回数等、一切自由です	

タオダン支援にご協力下さる方は下記にご送金ください。

口座名義はいずれも「ベトナム子供基金・タオダン支援」

郵便振替 : 00170-5-18054

銀行振込 : 富士銀行駒込支店 普通預金 1602525